

## 令和元年度事業報告

渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団は、渡良瀬遊水地及びその周辺地域において、良好な水辺空間の形成を図るための自然観察施設及び運動施設の整備・運営並びに環境保全のための活動、環境教育、調査研究等を行うことによって、環境保全とその利活用を推進することを目的としています。

令和元年度は、財団として従来から蓄積してきた知見・技術を活かして、渡良瀬遊水地及びその周辺における環境保全及び調査研究事業、施設管理事業、運動施設事業を地域と連携・協力し実施しました。

### 1. 環境保全及び調査研究事業

#### ①湿地植物の保全等の活動、環境教育及び遊水地への理解を深めるための活動

- ・渡良瀬遊水地の自然環境を活かし、小学生等を対象に動植物・歴史等をテーマとした環境学習(9回)・体験学習(16回)の支援を、また、自然環境への理解を深めるための動植物観察会(21回)、夏休みの自由研究に役立てて頂く夏休み宿題サポート教室などを実施してきました。なお、秋季に予定していた環境・体験学習及び動植物観察会は、10月の台風第19号の出水に伴い遊水地内への立入りが制限(10月中旬～12月上旬)されましたので、10月中旬以降は中止としました。12月に入り遊水地内への立ち入りが解放されましたので、冬季に予定していた野鳥観察会・初心者写真教室等は実施しました。
- ・遊水地内における貴重植物の保全・育成管理に努めるとともに一般の方々への現地案内(11回)、貴重植物の学習などを実施しました。
- ・環境保全のための渡良瀬遊水地クリーン作戦、遊水地の魅力を発信するフォトコンテストを実施するとともに、3月には自然環境保全のためのヨシ焼きを地域と一体となって実施しました。

#### ②渡良瀬遊水地の利活用・湿地植物保全等の調査研究及び広報

- ・貴重植物の保全・再生、生育環境の調査研究を実施するとともに、「体験活動センターわたらせ」、「湿地資料館」を活用し、渡良瀬遊水地の治水、利水、自然環境、利用等に関する情報提供、パネルの展示、ビデオ等による広報を実施しました。
- ・なお、「体験活動センターわたらせ」については、台風第19号の出水により施設が浸水し利用ができなくなりましたので、当面は、「湿地資料館」のみでの広報を実施するとともに、1月からは子供広場内にある休憩施設を利用して来園者への案内等を実施しました。

### 2. 施設管理事業

- ・安全に利活用できるよう貯水池周辺施設の点検、維持管理を実施(施設の補修・復

旧、清掃、出水時のトイレの撤去等)するとともに環境(貴重種)に配慮した貯水池周辺の除草、植栽の剪定等の維持管理を実施しました。

- ・貯水池周辺の利用状況の把握、利用者指導及び利用のための施設管理(ゲート管理、利用施設の子掃、貯水池周辺の塵芥処理、トイレの子掃等)等の貯水池周辺施設の保全業務を実施しました。
- ・なお、10月の台風第19号の出水に伴い、貯水池周辺施設に大量の土砂・漂着ゴミ等が堆積したため、緊急的に土砂・漂着ゴミの除去など早期の園内開放に向けての復旧作業を実施しました。

### 3. 運動施設事業

- ・渡良瀬カントリークラブの運営管理を行い、利用者の健康増進を図りました。今年度は、9月までは過去最高の来場者数であった昨年度を上回る来場者数で、順調に推移していましたが、10月の台風第19号の出水に伴い、ゴルフ場が浸水し、ゴルフ場内に大量の土砂・漂着ゴミ等が堆積したため、10月12日(土)より全面クローズとなり利用ができなくなりました。
- ・なお、12月9日(月)よりインコースのみを開放し営業を再開し、令和2年3月1日より全面オープンでの営業を再開しました。